

車両規則

- ①使用車両は、(株)ホンダ・レーシング(HRC)より販売されるNSF250R市販モデルのみとする。
- ②マシンはノーマル状態を基本とし、改造、変更を不可とする。
- ③但し以下のものは変更を認める。
 - FIセッティングツールによるマップ
 - ファイナルスプロケット、チェーン(チェーンサイズの変更は不可)
モーターサイクル専用ドライブチェーンに限る。
 - スパークプラグ(プラグキャップ、コードの変更は不可)
 - トランスミッションギア(HRC販売の純正オプション品に限る)
 - タイヤ(溝きり、カッティング等の加工は不可)※詳細は各主催者の判断に従うものとする。
 - ブレーキパッド
 - シートラバー
 - エンジンオイル
 - フロントフォークオイル
 - ブレーキフルード
 - ステッププレート&バー
 - リアブレーキトルクロッド変更に伴う取り付け方法及びリヤキャリパーブラケット
 - チェンジペダル/リアブレーキペダル
 - ブレーキレバー、クラッチレバー(レバープロテクション)
ブレーキレバープロテクションの装着は義務とする。
 - ハンドルバー/ハンドルホルダ/ハンドルグリップ
 - ステアリングダンパー
 - アッパー/アンダー/シートカウル/フェンダー、スクリーン(同材質で同形状のものに限る。)
 - リアセーフティーライトの装着(詳細はMFJ国内競技規則に準ずる)
ワイヤーハーネスから電源を供給する場合は、チェックカプラーからの電源供給のみ認める。
チェックカプラーからセーフティーライトの間には、ヒューズ(5A程度)の設置を推奨する。
ワイヤーハーネスの改修は認めない。
シートカウルにリアセーフティーライトを取り付けるための加工を認める。
 - リアフェンダー(カウリングと同材質のものに限る)。容易に脱落しないように取り付けること。
 - ホイールのエアバルブは、スタンダードまたはストレート形状のゴムバルブへの交換を認める。
バルブキャップの交換も認める。ただし安易に脱落しない物に限る。
 - 前後サスペンションスプリング
 - タコメーター(右記部品のみ使用可 : 37250-NF4-771 / 37250-NX4-731 / 37250-NX7-003)
(タコメーター交換に伴う関連部品<スティ・ハーネス等>の交換可)
 - ECU
主催者側から指示があった場合、その車両に装着されているECUを他のECUに交換しなければならない。
 - 水温計(関連部品)
 - 自動ラップ計時デバイス(P-LAP等)
 - データロガー(データ収集器、コンピューター記録装置など)の使用を認める。
・純正エキパイへのAFセンサーの取り付けを認める。
 - テレメトリー
動いているモーターサイクルへ情報を伝える、または動いているモーターサイクルから情報を得る事は禁止。
 - ブレーキキャリパーボルト
ブレーキキャリパー脱落防止のためのワイヤーロックを目的としてキャリパーボルトへの穴あけが認められる。
 - ボルト、ナット類(材質の変更不可)
 - クイックシフター
 - 転倒ダメージ軽減の為のプロテクター類(素材は自由)

④キルスイッチ

キルスイッチは他のスイッチ類と明確に区別できるように、キルスイッチのみ赤色にしなければならない。

- ⑤フレーム及びエンジンクランクケースを交換した場合は、刻印(フレームNo.及びエンジンNo.)無し状態で販売証明の提示または、交換前の刻印のあるフレーム及びクランクケースを車検にて提示しなければならない。

- ⑥使用するタイヤは、HRCが指定したワンメイクタイヤ(ドライ、ウェット)のみ使用することができる。

ドライ用	DUNLOP SPORTMAX SLICK (S-SLK)		
フロント	90/80R17	S-SLK (SOFT/MED/HARD)コンパウンド	
リア	115/70R17	S-SLK (SOFT/MED/HARD)コンパウンド	

※タイヤサイズ表記が変わりましたが、実際のサイズは変わりません。

ウェット用	DUNLOP RACING KR189/KR389		
フロント	95/70R17	KR189 (WC) コンパウンド	
リア	115/70R17	KR389 (WC) コンパウンド	

⑦DUNLOPステッカー貼付義務

全ての参加車両は、DUNLOPタイヤサービスにて配布のステッカーを主催者指定箇所に貼付しなければならない。(走行中剥がれた場合も含め、貼付が無い車両は失格となる)

同業他社名、同業他社の商品名等のステッカー貼付及び広告行為は認められない。

※ステッカーは指定されたもので、汚れや傷のないこと。

- ⑧表彰式登壇時にダンロップの帽子を配られた場合、キャップの着用が義務づけられる。
その場合、他のキャップを被る事ができない。

※上記以外は、「2026 MFJ国内競技規則 付則7 GPフォーミュラ技術仕様」に準ずる。